

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議（第5回）

日 時：平成28年3月23日

場 所：本庁舎2階 第1会議室

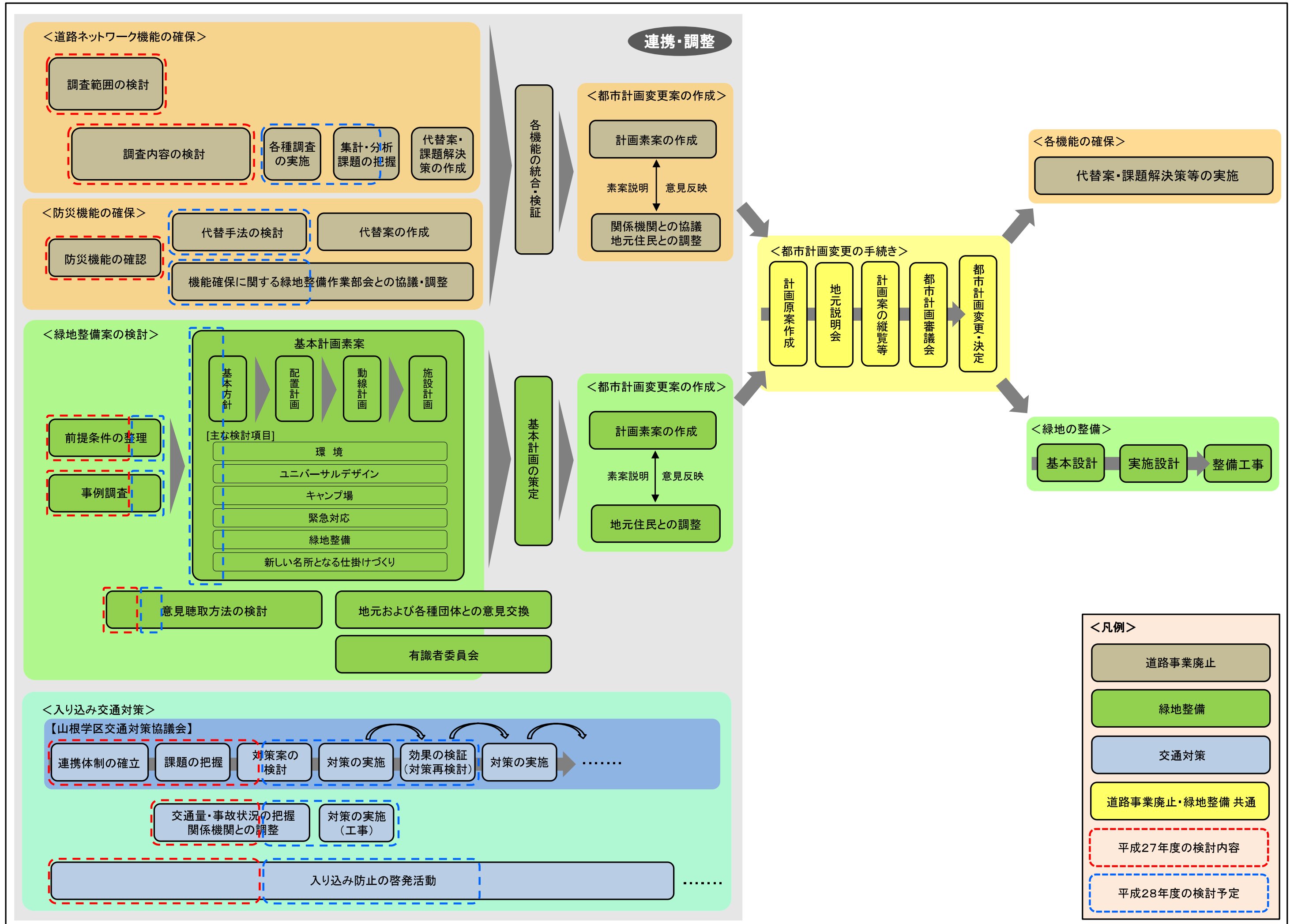
< 議 題 >

- | | | |
|-------------------|---|-----------|
| 1 平成27年度の検討内容について | } | 【資料1、2、3】 |
| 2 平成28年度の検討予定について | | |
| 3 要望・提案等について | | 【資料4】 |
| 4 その他 | | |
| ・次回の検討会議について | | |

平成 2 7 年度の検討内容及び平成 2 8 年度の検討予定

資料 1

	平成 2 7 年度の検討内容	平成 2 8 年度の検討予定（右上数字は予算額）
道路事業廃止 作業部会	<道路ネットワーク機能の確保> 【調査範囲の検討】 ・ 弥富相生山線の廃止により影響があると思われる範囲を検討し、交通調査が必要な範囲として設定した 【調査内容の検討】 ・ 弥富相生山線周辺の交通課題の把握に必要な「調査路線」「調査箇所」「調査項目」を選定した <防災機能の確保> 【防災機能の確認】 ・ 弥富相生山線が担う予定であった防災機能を確認し、代替案を作成すべき項目を選定した	<道路ネットワーク機能の確保> 13, 000 千円 【各種調査の実施】 ・ 各種交通調査を実施する 【集計・分析、課題の把握】 ・ 調査の結果を集計、分析して、弥富相生山線周辺で発生している交通課題を把握する ・ 課題を解決するための対策素案を検討する <防災機能の確保> 【代替手法の検討】【機能確保に関する緑地整備作業部会との協議・調整】 ・ 防災機能を確保するための代替手法を、緑地整備作業部会等と協議しながら検討する
緑地整備 作業部会	<緑地整備案の検討> 【前提条件の整理】 ・ 相生山緑地の敷地形状や歴史文化的資産、緑地周辺の土地利用の経緯、建設済みの道路部分の活用方法等について整理した 【事例調査】 ・ 自然環境を保全・活用した公園緑地、障害者のリハビリや活動の場等の調査項目を選定した 【意見聴取方法の検討】 ・ 市民参加のプロセスで意見集約した事例について整理した	<緑地整備案の検討> 2, 000 千円 【前提条件の整理】 ・ 動物の生息状況、植物の分布状況の調査を実施する 【事例調査】 ・ 平成27年度に選定した調査項目について、調査を実施する 【基本計画素案】 ・ 相生山緑地の整備に係る基本方針や配置計画等について検討する 【意見聴取方法の検討】 ・ 具体的な手法について検討する
交通対策 作業部会	<入り込み交通対策> 【連携体制の確立】 ・ 地元との連携体制を構築するため、協議会を設立した 【課題の把握】【交通量・事故状況の把握、関係機関との調整】【入り込み防止の啓発活動】 ・ 現況の交通課題を把握するため、アンケートを実施した ・ 課題を共有するため、協議会で現地を確認した 【対策案の検討】 ・ 平成 28 年度に実施する対策内容について検討した	<入り込み交通対策> 9, 000 千円 【対策の実施】 ・ 協議会で検討した交通対策工事を施工する 【効果の検証（対策再検討）】【入り込み防止の啓発活動】 ・ 上記対策工事の効果を検証する ・ さらなる対策について協議会で検討する



< 内 容 >



①対策範囲入口の明確化

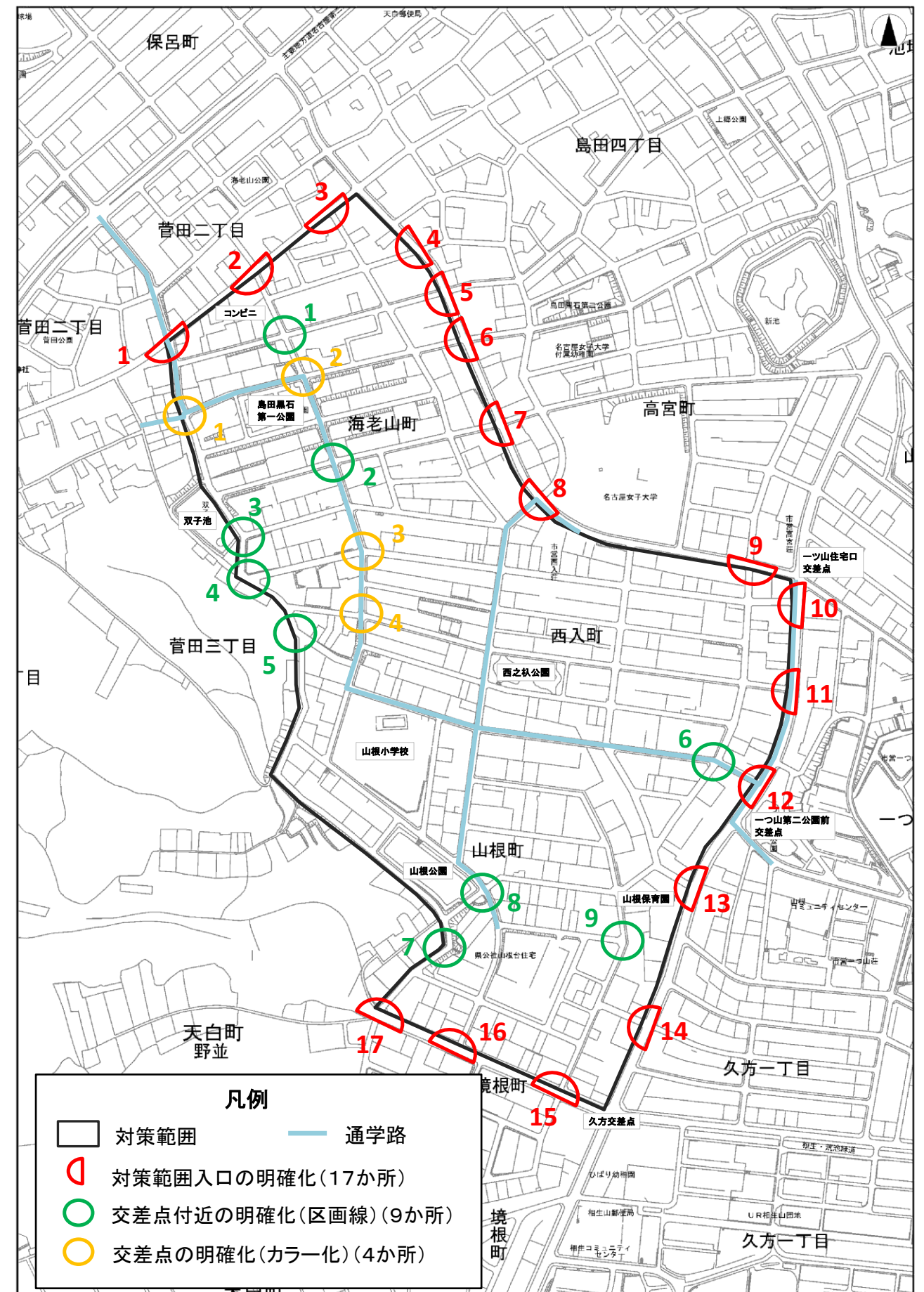


②交差点付近の明確化(区画線)



③交差点の明確化(カラー化)

< 箇所図 >



凡例

□ 対策範囲

通学路

① 対策範囲入口の明確化(17か所)

○ 交差点付近の明確化(区画線)(9か所)

○ 交差点の明確化(カラー化)(4か所)

要望・提案等について（平成27年9月1日～平成28年2月29日）

資料4

件 名	要 望 ・ 提 案 等 を し た 者	受 理 日
第47回名古屋市区政協力委員大会 要望事項	天白区区政協力委員協議会	H27.11.10
市道弥富相生山線廃止の要望書	相生山の自然を守る会 代表 近藤国夫	H27.11.11
「弥富相生山線は廃止する」との表明後の市の動向に関する公開質問状	相生山緑地を考える市民の会 共同代表 可知正孝 外波山節子 福井清	H27.11.11
「世界の AIOIYAMA プロジェクト」平成 28 年度予算案に関する提案書	相生山の四季を歩く会 事務局 田中眞理 ラブリーアース Japan 事務局 古川善嗣	H28.2.29